MAL-30｜採点・面接ガイド

Motor Activity Log / AOU：使用頻度 / QOM：動作の質

この用紙は専門職が面接で使用する記録補助です。自己記入だけで完了せず、採用する版・手順を確認してください。項目の日本語表記は記事掲載内容を整理しています。

0〜5点で記録。UAB手順では0.5点刻みも使用できます。

点	AOU：どのくらい使ったか	QOM：使ったときの動き
0	使わない	その活動では使わない
1	ごくまれに使う	動かすが、活動の助けにならない
2	時々使うが、多くは非麻痺側	多少役立つが、介助・強い遅さ・困難がある
3	発症前の約半分の頻度	役立つが、遅さ・努力を伴う
4	発症前の約４分の３の頻度	ほぼ通常どおりだが、速度・正確さが劣る
5	発症前と同じ頻度	発症前と同じように使える

・評価期間を日付で固定する。通常の初回・追跡評価は過去１週間が目安。介入中は採用手順に従う。

・UABの通常手順はAOUを全項目確認した後にQOMへ進む。AOUが０の項目ではQOMを別に尋ねない。

・「使わなかった」と「該当しない」は区別する。麻痺による不使用を安易に除外せず、理由・根拠を記録する。

・本人回答と家族回答は別用紙に記録。同じ版・回答者・期間・生活条件で比較する。

出典：UAB CI Therapy Research Group. Motor Activity Log Manual (2011).
https://www.uab.edu/citherapy/images/pdf_files/CIT_Training_MAL_manual.pdf

参考日本語表記・記録用／検証済み日本語版の転載ではありません。

MAL-30｜評価記録 1〜15

各項目の点数と、実際の生活場面・不使用／除外理由を記入

ID／氏名：　　評価日：　　年　　月　　日

対象期間：　　月　　日 〜　　月　　日　　回答者：本人・家族（　　）

麻痺側：右・左　発症前利き手：右・左・両側　評価者：

No.	活動	AOU	QOM	場面・不使用／除外理由
1	電灯のスイッチで電気をつける			
2	引き出しを開ける			
3	引き出しから衣服を取り出す			
4	電話を取る			
5	キッチンカウンターなどの表面を拭く			
6	車から降りる			
7	冷蔵庫を開ける			
8	ドアノブを回してドアを開ける			
9	テレビのリモコンを使う			
10	手を洗う			
11	蛇口のノブやレバーで水を出す・止める			
12	手を拭く			
13	靴下を履く			
14	靴下を脱ぐ			
15	靴を履く			

AOU・QOM：0〜5（採用手順により0.5刻み）／除外は「除外」と理由を記録。

空欄＝未確認。０点と混同しない。集計対象・除外の判断は採用マニュアルに従う。

このページの小計：AOU　　QOM　　除外項目番号：

参考日本語表記・記録用／検証済み日本語版の転載ではありません。

MAL-30｜評価記録 16〜30

各項目の点数と、実際の生活場面・不使用／除外理由を記入

ID／氏名：　　評価日：　　年　　月　　日

対象期間：　　月　　日 〜　　月　　日　　回答者：本人・家族（　　）

前ページと同じ条件で記録。項目番号20と28は持ち方の違いを確認。

No.	活動	AOU	QOM	場面・不使用／除外理由
16	靴を脱ぐ			
17	肘掛け付きの椅子から立ち上がる			
18	座る前にテーブルから椅子を引く			
19	座った後に椅子をテーブルに近づける			
20	グラス・ボトル・飲み物のカップを持ち上げる			
21	歯を磨く			
22	化粧品・ローション・シェービングクリームを顔に塗る			
23	鍵を使ってドアを開ける			
24	紙に書く			
25	手に物を持って運ぶ			
26	フォークやスプーンを使って食べる			
27	髪をとかす			
28	取っ手を使ってカップを持ち上げる			
29	ボタンを留める			
30	サンドイッチなど手でつまめる食べ物を食べる			

AOU・QOM：0〜5（採用手順により0.5刻み）／除外は「除外」と理由を記録。

空欄＝未確認。０点と混同しない。集計対象・除外の判断は採用マニュアルに従う。

このページの小計：AOU　　QOM　　除外項目番号：

参考日本語表記・記録用／検証済み日本語版の転載ではありません。

MAL-30｜集計と生活目標

点数の変化と、生活で変わったことを一緒に残す

ID／氏名：　　評価日：　　年　　月　　日

採用した版・マニュアル／回答支援の方法

生活環境・介助・装具など前回から変わった条件

平均点 ＝ 各尺度の合計 ÷ その尺度の集計対象項目数

０点は集計に含める。除外は理由を確認して分母から除く。未確認を勝手に補完しない。

尺度	合計	集計対象項目数	平均（0〜5）
AOU			
QOM			

除外項目番号・理由／前回との分母の違い：

生活目標：いつ・どこで・どの活動に・どのように手を使うか

実践方法・必要な介助／安全面（痛み・疲労・転倒など）

評価日	AOU平均／項目数	QOM平均／項目数	生活での変化

低得点だけで学習性不使用と診断しない。AOUとQOMの大小だけで能力や介入方針を決めず、動作観察・本人の目標と合わせて判断する。

参考日本語表記・記録用／検証済み日本語版の転載ではありません。